

息子の現状について

(6歳)

知的障害を伴う自閉症スペクトラム障害と診断され 2歳半から早期療育に取り組み言語理解や生活動作の改善を図ってきた。学校と連携しながら、18歳までに言語の獲得と算数の理解を目指したい。

1. 生活習慣

(1) 食事

多少の食べこぼしや手で食べ物をつまむことはあるが、スプーンとフォークを使い一人で食べることができる。箸は未だ使えない。他の子どもの食べ物を取る、ごはんを手でこねる、飲み物を口から器に戻す癖があるので、監視は必要。

(2) トイレ

大人に排泄の意思をサイン（ポンポンとお尻を叩く）と不明瞭な言語で伝えてトイレに行くことができる。自宅では一人でトイレに行くことが多い。日中のお漏らし等はほぼないが、定期的な声掛けが必要。自宅では大小ともに洋式便座に座って排泄している。

(3) 着替え

上下ともに一人で脱ぐことができる。上衣については裏返しにならない正しい脱ぎ方をマスターした。靴下は手先が不器用なため未だスムーズに履くことができない。

2. 偏食、感覚過敏（聴覚、視覚など）

(1) 偏食 特に無し。食べることには非常に意欲的

(2) 感覚過敏 聴覚過敏有り（赤ちゃんや子どもの泣き声、大きな声、掃除機、エアータオルの音等が苦手）

3. 指示の理解

(1) 言語

言語はある程度理解できる。日常的な指示は、言語で行うことができる。(例 立つ、座る、衣服、靴の脱ぎ履き、ごはんを食べる、トイレに行く、手を洗う、〇〇取って、片づけて等)。指示は分かりやすく簡潔に出すようにしている。

(2) 文字

ひらがな 50音と単語 30語以上、1~10までの数字は理解できる。数の概念や、文字による指示を理解するところまでは至っていない。

4. 発語の能力

要求語を中心に、手や身体を使ったサインを伴って発語があるが、発語が不明瞭なため、家族以外にはなかなか伝わらない。(サインと発語で理解できる状況)

サインを伴う発語は、(ジュース、お茶を) 飲む、(ごはん、ヨーグルト、アイス、おやつ、クッキー、パイを) 食べる、テレビを見たい、眠い、嫌だ、外に出たい、自転車に乗りたい、パズルをしたい、本を読みたい、アイパッドで遊びたい、トイレに行きたいなど 30 語以上。

5. こだわりや反復性行動

特にないが、室内外ともにつま先歩きが多い。足裏をつけるよう指示するとかかとをつけて一時的に歩くことができる。おもちゃなどのものをかじる癖がある。

6. 衝動性や多動傾向

急に飛び出して走り出すなどの行動が多くみられる。外出時は子どもと手をしっかりとつないで歩いている。気になる素材の洋服等や青いものを衝動的に触ることが多い。自傷行為、他害行為は無い。

7. 健康面

(1) アレルギーの有無

(2) てんかん・熱性けいれん

(3) 既往歴

(4) 服薬

(5) 気になる点 肌が弱く肌荒しやすい体質 (特に顔)

8. 発達歴：運動、言語、コミュニケーションの概略

1 歳 6 ヶ月健診で言葉の遅れを指摘され、脳の検査、聴覚検査を行ったが異常なし。自閉症の疑いを指摘される。